

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	福祉ルームみらい原		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～ 令和8年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～ 令和8年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの意思を尊重し、好きな活動や興味のある活動を存分に楽しむことができるよう配慮している。	・活動スペースを、分散しそれぞれの活動に専念できるような環境を整えている。 ・利用人数が多い日には、野外活動も取り入れ子どもたちのエネルギーを発散できるような活動を心掛けている。	・活動の選択肢を増やし、子どものニーズや特性に配慮した活動を提供できるよう職員間で話し合っていく。 ・トラブルになりやすい児童同士が心地よく過ごせるよう、職員が状況を把握し未然にトラブルを防げるよう配慮する必要がある。
2	・朝礼や終礼で日々の子どもの様子や成長、気付きなどを共有することで、全職員が共通認識を持って支援に向き合うことができている。	・終礼では、一人一人が発言する機会が設けられ、意見を言いやすい雰囲気を作られている。 ・当日休んでいる職員にもミーティング議事録や翌日の朝礼で共有している。	・朝礼・終礼時に支援目標の確認や達成度合いの確認を合わせて行うことで、より内容の詰まった話し合いができると考える。
3	・職員が研修を受ける機会が設定されている。	・研修受講後に研修内容について職員間で話す機会を設けることで、より内容の理解を深めることができている。	・受講した研修を定期的に振り返ることで、内容の定着や支援へ活かしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が十分でない。	・保護者とのやり取りの際に、子どもの支援についての共有に重きを置いてしまっており、家族支援について十分に配慮できていない。	・ご家族に対してのペアレントトレーニングや研修会等の情報共有を行っていく。
2	・地域との交流ができていない。	・地域と交流できる機会やイベントの情報を受け取れていない。 ・地域との交流や活動時間等の兼ね合いで、日程調整が困難な事が多い。	・地域で参加できる活動や交流の機会を持てるイベントの情報を収集し、活動に取り入れていく。
3	・バリアフリーの面で十分でない箇所がある。	・建物の構造上、段差や手すりの設置が難しい箇所がある。	・可能な限り、移動スペースを確保したり安全面に配慮した家具の設置等を行っていく。